

藤棚新聞



第61号
2018年(平成30年)
8月20日
偶数月発行
フリーペーパー

移動支援バス「おでかけ3」試行運転を実施!

以前から「第3地区は、山・坂・階段が多いため、買い物に苦労している」と多くの人たちの声がありました。なんとか楽な移動を実現しようと、横浜市道路局は平成15年12月15日から愛称「ハマちゃんバス」による実験運行を重ねました。しかし運行収入が大幅に不足するなどのために平成19年3月31日で実験運行を終了しました。(参考:横浜市道路局HP)

平成28年度より、藤棚地域ケアプラザでは第3地区の高齢者を対象に「日常生活に関するアンケート調査」やヒアリングを行ってきました。その結果、「山・坂・階段が多いため、買い物に苦労している」と返答した人が全体の7割近くになったそうです。そこで第3地区では、地域の方の外出を支援して、人と人、人とまちをつなごうと移動支援バスの「おでかけ3(さん)」を運営する「おでかけ3実行委員会」(笠原 實会長)を立ち上げました。こうして5月20日の「ふれあい春まつり」で、初めて運行されました。



公募で、「おでかけ3」のロゴマークが決定

最優秀賞 杉山裕子さん(東久保町)

これと並行して、「あなたのイラストが第3地区を走りまわる日があるかも!？」とのふれこみで地域の方がたにおでかけ3のロゴマークが募集されたのです。7月11日に生活創造空間にして開かれた、第3地区地域のつどいでその受賞者が発表されました。



最優秀賞の
杉山裕子さん
とロゴマーク



最優秀賞には、東久保町の杉山裕子さんの作品が選ばれて、1万円のお買物券が授与されました。杉山さんは、「子どもに見てもらいたい、そうすれば家族で会話ができる」と喜びを語ってくれました。また、優秀賞には5人の作品が選ばれて、2千円のお買物券が授与されました。

おでかけ3実行委員会の笠原会長は、「おでかけ3をぜひ成功させた

い。金額や運転などいろいろな問題がある。一步一步詰めていく。長く続くように頑張りたい」と抱負を述べました。また、会場からは「乗る人の目的地を考慮したい。」「現在の交通手段(バスや電車)との調和を図りたい」という意見がでました。

また、おでかけ3実行委員会では、移動

支援バスで乗車の手助けをしてくれる添乗員数名を募集しているそうです。お問い合わせは、次までどうぞ。

生活創造空間にし

TEL: 045-250-6506 担当: 阿部

横浜市藤棚地域ケアプラザ

TEL: 045-253-0661 担当: 志田


西区虫の音を聞く会

8/25(土) 17時～19時30分 ※少雨決行

昭和40年から開催されている西区虫の音を聞く会は第54回を迎えて、井伊掃部頭直弼公の銅像のある掃部山公園で開催されます。万灯、ぼんぼりの点灯、野点、琴、尺八の演奏(舞台)などの催しが盛りだくさん。夕涼みイベントで『日本の夏』を感じてこの夏の猛暑を乗り切りましょう。

16:00からは、西区ガイド養成講座修了生による、歴史と文化の丘掃部山ガイドツアーが開催されます。(神奈川婦人会館で15:45受付開始) 掃部山をめぐる歴史を知って、野点を味わいながら西区虫の音を聞く会を10倍楽しんでみたら如何でしょうか～?

第54回
西区虫の音を聞く会



【日時】平成30年 **8月25日(土)** 17時～19時30分
 【場所】掃部山公園 (西区紅葉ヶ丘57) ※少雨決行
 【内容】万灯・ぼんぼりの点灯、野点 (のたて：野外での茶会)、
 琴・尺八の演奏、即興歌席、模擬店、鈴虫の販売など
 【問合せ】ふるさと西区推進委員会事務局 (西区役所地域振興課)
 TEL:045-320-8389 FAX:045-322-5063

主催：ふるさと西区推進委員会【事務局 TEL：045（320）8389】

会場：掃部山公園（西区紅葉ヶ丘57）

昔と今



画家の長谷川泰さんが、西区のあちこちを歩いて絵と文で構成した画文集「西区そぞろ歩き」(平成16年11月横浜ふじライオンズクラブ/西区役所区政推進課広報相談係 発行)の中の場所は81カ所に及んでいます。

今回はその中から、“なつかしの野毛山公園プールと謎のトンネル”です。なお、西区役所から原画のコピーを提供していただきました。

“なつかしの野毛山公園プールと謎のトンネル”

日本貿易博覧会が昭和24年の3月から6月まで野毛山公園で行われ、その会場の噴水池を50m競泳に改装して利用した他、飛び込みプールや観客席を造り、同年10月に第4回国民体育大会水上大会が開催されました。その後幼児プールもつくられ、いろんな層の利用者が多かったものの、学校プールや遊泳プールが増加したことで利用者が減少し平成22年にプールの解体を余儀なくされました。平成16年のころと現在を比べると、写真左上と中央のあたり



に樹木が残っているのがわかります。

この近くの小学校の裏門あたりで、太平洋戦争中に防空壕を掘っていたら巨大なトンネルに遭遇したといえます。しかし確かめた人はいないようです。

西区老松町、東ヶ丘付近

← 現在

← 「西区そぞろ歩き」から (平成16年ころ)

障害を持った人も持たない人もいっしょ!

ご住職のお話と縁日を楽しむ

願成寺



藤棚一番街と西前中央商店会で催された願成寺の縁日(7月24日)では、ことしも障害を持った人と持たない人が一緒に楽しむ集い(企画:「はじめのいっぽ」代表:高木大介さん)がことしも開かれました。

一行は、まず願成寺に行ってお地蔵さんの由来を伺いました。願成寺は約700年前から続いていて、今のご住職は47代目です。駐車場の奥には3体のお地蔵さんが祀られています。真ん中ある一番背の高いお地蔵さんは150年位経っています。向かって左側は、岩亀横丁にあった1体。向かって右側は戦争前まで藤棚商店会にある横浜銀行の横にあった一体。それぞれ違う場所から移され現在3体が仲良く並んでいます。そんなお地蔵様の日(お誕生日)は24日だとか。巢鴨のとげぬき地蔵をはじめ日本のお地蔵様を祀るお祭りは毎月24日だそうです。

願成寺でも毎月24日に護摩祈祷を行なっています。江戸時代中期から末期に縁日がはじまり徐々に屋台が増えていき現在のようになったそうです。以前は夏場の4日と9日のつく日に開催されていた縁日も現在は4日のつく日のみですが、6月~8月の縁日を子どもたちはとても楽しみにしています。

映画から考える認知症

~認知症サポーター養成講座~



身近な家族の問題である認知症と私たちはどう向き合ったらよいのでしょうか。8月12日、映画「認知症と向き合う」を見て考える認知症サポーター養成講座(主催:横浜市西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」 共催:にしとも広場)がにしとも広場で約30人の人たちを集めて行われました。

映画では認知症の祖母、夫婦と娘の4人家族の葛藤を描いています。終わりには、祖母のありのままを受け止めていくことによりおだやかな日常を得

ました。映画を見た後に、介護をしている人たちからの発表があり、主催者からは「まず受け止める」という提案があった他、介護の事例として、お店の中などでも介護をしやすくするために静岡県で始められた「介護中」と書いて胸から下げるカードの紹介がありました。(写真左)

みんなで!!みちあそび

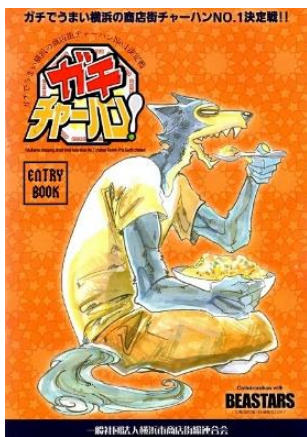
7月22日(日)のにしとも広場の外では小さな子どもたちが、みちでのお絵描きと水遊びに夢中でした。室内の元気な子らも合わせると約50人の歓声があふれました。(写真右)

第4弾の「みんなで!!みちあそび」は、9月2日(日)10時~12時ににしとも広場で開かれます。

チョークあそびや水あそび、カプラの積み木、新聞紙あそびなど大人も子どももいっしょに自由な遊びを楽しみませんか?



主催: NPO 法人
はぐっと ,
にしとも広場
協力: 公益財団法人
よこはまユース



ガチちゃん 待たれる投票結果

横浜の商店街チャーハンナンバー1のお店は！！

今年で8回目を迎えたガチシリーズ(一般社団法人横浜市商店街総連合会主催)には、西区から「台湾料理 金葉」と「新同楽」が参加して、Webや郵送による投票が7月に終わりました。いよいよ9月には全市の参加40店の中で、チャーハンNO.1が決定されます。



第3地区地域の集い 藤棚新聞が報告

8月23日(木)15時からの第3地区地域の集いで、藤棚新聞は2008年8月に「準備号」を発刊してから今日に至るまでを振り返って報告します。この地域でなぜ藤棚新聞なのか、そして今アンケートの回答をいただいてどうするかを考えます。場所は、藤棚商店会の「わいわい広場」です。みなさまのお越しをお待ちしています。



藤棚新聞ホームページ完成 バックナンバー公開中

5月に実施した読者向けのアンケートでみなさまからいただいたご要望を踏まえて、この夏藤棚新聞の新しいホームページが完成しました。

アドレス <https://fujidananews.jimdofree.com/>



藤棚新聞ホームページ



ホームページではバックナンバーをすべて公開しており、どなたでも新聞(電子版)をダウンロードすることができます。

現在発行している紙面版や電子メール版と合わせ、今後はホームページもご利用ください。また、ホームページに関する忌憚のないご意見ご感想もお待ちしております。

藤棚新聞のホームページは、スマートフォンからでもご利用いただけます。アンケートの詳細は6月号をご覧ください。

藤棚俳壇・選者——三村風彦

読者のみなさまからご愛顧をいただいております。藤棚俳壇は、都合によりしばらくの間お休みします。

藤棚新聞ではただいま広告と寄付を募集中です。いっしょに活動してくれるボランティアも募集しています。

【発行】藤棚新聞 〒247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷 2-54-C 801

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@jcom.zaq.ne.jp